

作

一三二一五 受信始〇〇四四〇三 譯了〇五一〇 電〇七〇一三 艦災作〇



機密第一四二三三五番電

一六〇〇妙高ノ状況左ノ通(水偵報)

一、サンジャツク岬ノ二一六度一六〇埋標流目下艦尾附近炎上中但シ

火勢漸次衰へツツアル模様ナリ船体殆ど傾斜ナシ

二、警戒艦三隻

三、今朝艦上攻撃機一機警戒

四、天候晴海上静穩。

通八〇六五 呂一Bラ一七(六二三五K)一〇通

海軍

第十信課

944

作

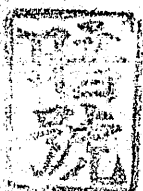
作戰緊急

一二一五 受信一五四〇 譯了一五四三 電〇七一四六 海災作〇

親

第一護衛艦隊

第十條



九〇一空東港派遣隊・九〇一空西貢派遣隊・沖繩・掃二〇
海上護衛總隊・聯合艦隊司令部
第一海上護衛隊司令部
第一海上護衛隊西方面
第八護衛船團司令部
機密第一五一二一七番電

四五三空佛印派遣隊ノ半數及沖繩掃二〇ハ妙高ノ救難及敵潛掃蕩ニ關
シ一KF長官ノ指揮ヲ承クベシ。

局長	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
A	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
B	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
J	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
C	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
H	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
D	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

通八三六七 於一一一一三五二〇KC(高通)

海軍

945

人

一二一六 受信始 〇〇一三三 四 譯了 〇二五八 電 〇七三八二 作概 〇

作

急

長	次		
聯合			
A			
B			
E	I	長	
J	C		
G	H		
F	D		

機密第一五三三二番電

クラーク第一聯合基地航空部隊戰鬥司令部

發 大海參一部長

菲島方面偵察兵力ノ不足ハ既ニ御承知ノコトナルモ實情ハ更ニ不良ニシ
 テ各種機ヲ利用シ極力索敵偵察ニ努メツツアルモ敵發見ニ日後尙敵攻路
 部隊ノ全貌ヲ詳ニスルヲ得ズ敵ノ企圖判斷ニ苦シム實情ニ在リ但シ目
 下ノ所敵「ミンドロ」島南部ニ基地ヲ挺身シ我補給路遮斷ヲ策スルト共
 ニ呂宋方面攻堅基地ノ確保ヲ企圖シアリ
 尙引續キ別ノ部隊ヲ以テ「レカスピ」乃至「ハラウン」方面ニ對スル

通 八六二一
 呂一Bラ十七(四二七〇KG)三一通 石川(小川)

946

進攻の算ナシトセザルモノト一應判断ス
加フルニ敵機動部隊ニ依ル制壓ハ北非ニモ及ビ當「クラーター」基地ハ特
ニ連續制壓下ニアリテ航空兵力ノ發着ニモ制扼ヲ受クアル狀況ニ在リ
以上實情報告迄
尙小官ハ「クラーター」基地ニ在リ。



保安緊急

第一南遣艦隊

八	二	一	五	長
南	大	西	海	方
機	密	第	一	五
一	五	四	八	番
電				

上護衛總隊・聯合艦隊・第八船團選航△
五戰隊▽・五艦隊▽

第十一特別根據地隊機密第一四一〇五四番電聯

一、當艦隊ニ妙高曳航ノ通船ナシ

二、現場到達艦船ニテ曳航ヲ努メラレ度

三、妙高艦長ニ於テ集合見込ナケレバ第二遊撃部隊ノ協力ヲ得ル外策

ナシ。

通八四八二 呂一Bラ一七(一)二三五KO(一)〇通 海軍

原(福田)

447



一三二一六

緊急
要電

受信開始 〇〇六三〇五九

終了 〇六五五

電 〇七四四一

英作
海軍
〇〇

受信
開始

海軍大臣	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省
海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省
海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省
海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省
海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省
海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省
海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省
海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省

機密第一五一八三〇番電

海軍大臣

機密

D F 電令第五七一號及 G B 電令作第三二六號編聯

教練等ノ爲營艦隊護衛兵力ヲ之ニ充當スル該兵力ノ指定ハ現場ノ實

情ト爾後ノ護衛計畫ニ從ハナルベク營艦隊ニテ實施ノコトト致度

通八六一九

品二(四七〇五五)海軍

海軍

978



親展

一六 受 始 〇〇九一三 歸 丁 一 一〇五 電 〇七五二一 海 英 作 〇

佛 佛 機 機 地 部 隊

局長 一 認長	大 本 營 運 送 部	聯 合 運 送 部	第 一 聯 隊 上 陸 機 關 官	第 一 聯 隊 機 關 官	第 一 聯 隊 機 關 官	第 一 聯 隊 機 關 官	第 一 聯 隊 機 關 官
暗 號 電 極 秘	機 密 第 一 五 二 一 〇 三 番 電						

暗號電極秘

機密第一五二一〇三番電

妙高敷離情況（十五日水信報）

- 一 一七二五位 北緯八度二二分 東經一〇五度三〇分 サンジャツクニ 向ヶ往 航 妙高ヲ曳 航中 速力 五節 曳 航 狀 態 良 好 海 上 平 穩 ナリ
- 二 船 尾 火 災 船 火 と ル モ ノ ノ 如 シ 煙 ニ 白 煙 アリ
- 三 第 一 聯 隊 機 關 官 由 利 島 第 二 〇 聯 隊 機 關 官 第 三 四 聯 隊 機 關 官 第 一 二 聯 隊 機 關 官
- 四 機 關 官 二 水 信 報 航 中

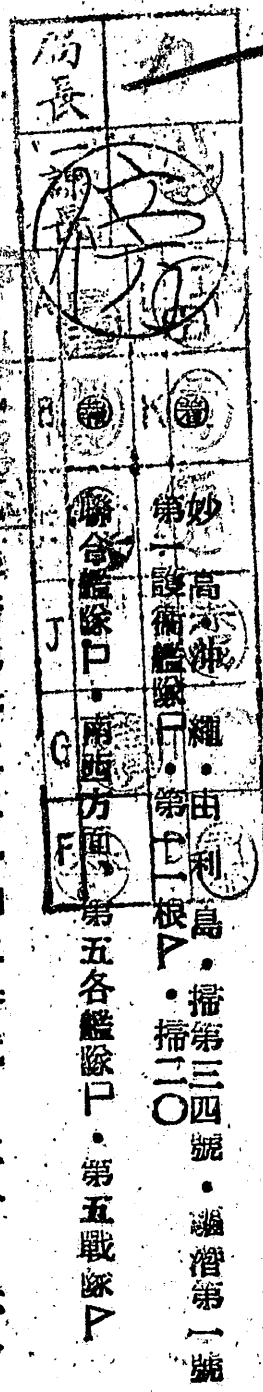
通 八 七 六 六 呂 一 呂 ラ 十 七 (一 七 五 九 〇 〇) 十 通 海 軍

第 十 信 課

人

一二一六 受信 〇〇一五九 譯了 〇三一九 電 〇七四一八 海災作護 〇

保安緊急



機密第一五二一四二番電 二分ノ二

S H B 電令作第一九九號

一、妙高ノ救助作業指揮官ヲ佛印根據地部隊指揮官ニ指定ス

二、佛印根據地部隊指揮官ハ妙高ノ救助作業ニ關シ左ノ兵力ヲ指揮スベシ

(1) 六五三空佛印派遣隊ノ半数一二空飛行機

(2) 沖繩 第二〇掃海艇 第一驅潛艇 由利島 第二四掃海艇 建部丸

海興丸

通 八六三三 四三

天二B (六二三五 KC) 一〇 通 三浦・五反田 (太田)

1349

950

- 三、現場ニ於ケル作業督促指揮統制ハ之ヲ妙高艦長ニ委任スベシ
- 四、妙高ノ曳航先ハ現場作業ノ状況ニ依リ已ムヲ得ザレバ一時附近沿岸
又ハ泊地トスルモ爲シ得ル限り昭南ニ選定スベシ。

傍

新編 六
作取緊急

受領〇九四一
開始一〇〇〇

丁一〇一〇 〇七四八一

海軍 〇

八	二					
歌		〇	〇	〇	〇	〇
合		〇	〇	〇	〇	〇
全		〇	〇	〇	〇	〇
運		〇	〇	〇	〇	〇
軍		〇	〇	〇	〇	〇
作		〇	〇	〇	〇	〇
取		〇	〇	〇	〇	〇
緊		〇	〇	〇	〇	〇
急		〇	〇	〇	〇	〇

一六〇八三一番

八三〇

二

八七七五 海軍

山崎

951

作戰特別緊急

局長	受信	三	四	五	六	七	八
一	二	三	四	五	六	七	八
九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六
十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四
二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二
三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	四十
四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八
四十九	五十	五十一	五十二	五十三	五十四	五十五	五十六
五十七	五十八	五十九	六十	六十一	六十二	六十三	六十四
六十五	六十六	六十七	六十八	六十九	七十	七十一	七十二
七十三	七十四	七十五	七十六	七十七	七十八	七十九	八十
八十一	八十二	八十三	八十四	八十五	八十六	八十七	八十八
八十九	九十	九十一	九十二	九十三	九十四	九十五	九十六
九十七	九十八	九十九	一百				

七六四一 作 概



第一聯合基地航空部隊指揮官所在艦所・聯合艦隊司令部

四、三、驅、逐、隊

機密第一六〇四二番電

機密第一六〇四二番電

發 南西方面艦隊參謀長

「サンホセ」突入作戰當方腹案左ノ通

一、MMニ向フガ如キ航路ヲ執リ日没時「ブスアング」島北端ノ西方約八〇

海ニ達シ爾後同島ヲ背景トシツツ〇〇〇「サンホセ」泊地ニ進入砲雷

ニ依リ在泊艦船ヲ攻撃

ニ歸路ハ急遽西方ニ避退日出時「ブスアング」島ノNW海面ヲ機宜行動ノ

上夜間MM入港補給

通八九一六 呂二Bラ十七 (一三三二六K) 三一 通放

951

三 情況許ス限リ突入日薄暮時航空機ヲ以テ「ブスアンガ」在泊艦船ノ偵察
速報ヲ行ト共ニ驅逐隊突入時照明彈投下等ニ依リ協カス。

局長	一課長	二課長	三課長	四課長	五課長	六課長	七課長	八課長	九課長	十課長
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

親展

無線艦所用共通符號

二一〇三 電〇七七七〇 作概〇

作

● 聯合艦隊口・三航空艦隊口
 ● 南西方面部隊口・一聯合基地航空部隊口・七六二航空隊
 ● 大海參一部長

機密第一六一二四二番電

發 第四艦隊參謀長

一第四艦隊機密第一五一五三〇番電關聯

偵察寫真判讀ノ結果左ノ通り

(A) A二一區 B二二區ニ戰艦又ハ大機一大中型輸送船五ノ小型輸送船

一九(空母ヲ認メズ)

(B) 〇一二區輸送船一二

通九〇五五 呂二Bヲ十七(五一二五K)四通、東(機)澤(

953

- (ハ) G二七區寫眞撮影シアラマニ付前電通トス
 - (ニ) フララツブ島飛行場誘導路擴張ノ形跡アリ
 - (ホ) マガヤン島附近礁外哨戒艦ラシキモノ六隻
- ニ P B ^{ラウ}ハ明十七日〇五〇〇 P Ⅱ發實施ノ豫定



親展送

保安要急

受信 〇〇二二〇
開始 〇二二五〇

了 〇二二五五

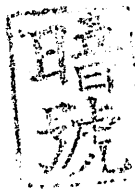
電 〇七八五五

災作 〇
海護

電位 誤認

第五艦隊口・第一南道艦隊口

聯合艦隊口・南西方面艦隊口・一一根△・五戰隊△・一護衛艦隊口・獨



機密 第一六一五五八番電

發 妙高艦長

建部丸ニテ曳航開始セシモ低速ニ曳航速力八節以下一九〇〇馬力實速平水ニ於テ三節内外ナルト風速増大一一米以上セル爲種種手勢ヲ盡シ保針ニ努メツツアルモ殆下不能ニシテ漂流近キ状態ニアリ斯クテハ護衛艦艇ノ行動力ニモ支障速ニ強力曳航艦派遣方取計ハレ度。

通九二三六 十・六二三五〇一十番

海軍

954



親展報
作戦緊急

第一	第二	第三	第四	第五	第六	第七	第八	第九	第十
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

七八三八
海作○

◎ 南海第一隊・聯合艦隊口・二隊口・一海軍艦隊口
◎ 五機隊△・一一機△・筑摩

海軍省 密第一六一八四四番電

二 Y B 司令作第一二號

一 本日敵 B 一二四ニ依ル被発見報告ニ鑑ミ當隊明十七日〇八〇〇出
一 應海外ニ避退ス

三 第二十一艦隊隊(初編)及霞ハ日米丸指揮官ノ招留ヲ受ケ同艦ノ「
サンジャツク」回航設備ニ任ジタル彼等十一特別根拠地隊司令官ノ
命ヲ受ケ妙高ノ救難ニ従事スベシ。

通九〇六三 口一Bラ十七一六二三五〇一十通 海軍

455



親展 一六
作取特別緊急

受信二三五五
開始〇〇〇七

了〇〇一八

〇七九二九

海 災作
〇

聯合艦隊口・一南艦隊口

陸軍極密

發密第一六二二二五番電

南西方面艦隊參謀長

資料ニ依リ至急妙高ノ救難ヲ實施サレ度。

通九一四九 呂二ヲ十七 (四四四二配) 三一 通放 海 軍

第拾倍課

一二一七 受信 〇〇六五〇 譯了 一〇三〇 電〇八十九六 海災作 〇

作戰緊急

第五艦隊

總無線艦所用共通符號



聯合艦隊司令部。南西方面艦隊司令部。第一南遣艦隊司令部。第五戰隊司令部。妙高。二水戰。第八護衛船團司令部。十一根。

機密第一六二三三〇番電

發 潮驅逐艦長

貴機密第一六一九三一番電關聯

本艦二一〇三サンジャツク着今夜燃料補給明早朝北上ノ豫定
本日プロコンドル以北逆風一三米以上アリ右舷ニ損傷部外飯相當ノ屈
伸ヲ起シ補強ヲ加ヘタルモ尙重油タンクニ漏油部ヲ生ゼリ
且左舷機ノミ使用可能ノ本艦ニテハ妙高ヲ當地迄曳航ノ見込ナシ(保

通九二九九

於一一 (六二三五K) 十通

吉川(小川) 海軍

957

シ
ン
困
難
一
ケ
ン
全
ナ
ル
曳
艦
派
遣
ニ
關
シ
更
ニ
御
考
慮
ヲ
願
ヒ
度
。

（東通註 本電誤字極メテ多シ 再送要求中）

第十信課

海
軍
（

1362

緊急
作

陸海軍極秘

三二七
受信
始信
〇八〇六
八二〇

了
〇八四〇
電
〇七九三八

航作
概
本〇

第五十二航空基地

横領・父島根P・二十七航戦P

機密第一七〇六〇三番電

發 四航戦司令官

T-11飛行隊彩雲ノ木更津歸投ハPB偵察後ニ延期ス

歸投日時ハ追テ通知ス。

通九三〇五

呂ニBラ十七、一七六三〇(カ)四通

957

作

親展

保業

一三
一七
一三〇
一四〇
丁 一四一〇
〇〇八〇四七
海 作
〇

● 聯合艦隊司令部 第一海軍艦隊司令部 第二海軍艦隊司令部 第三海軍艦隊司令部 第四海軍艦隊司令部 第五海軍艦隊司令部 第六海軍艦隊司令部 第七海軍艦隊司令部 第八海軍艦隊司令部 第九海軍艦隊司令部 第十海軍艦隊司令部

● 第一海軍艦隊司令部 第二海軍艦隊司令部 第三海軍艦隊司令部 第四海軍艦隊司令部 第五海軍艦隊司令部 第六海軍艦隊司令部 第七海軍艦隊司令部 第八海軍艦隊司令部 第九海軍艦隊司令部 第十海軍艦隊司令部

暗號

第一七〇八二五番 二分ノ一

一〇五一〇風波ノ海(風速一二米) 損害部ニ切斷(三一五番) 左舷内軸ノ使用不可能自力航行全ク不能トシテ(淡水機大ノ故障ナシ)

一〇七三〇ノ位置北緯七度四〇分東經一〇四度三三分針路緯率一九

〇此處航速力約二ノ五節

時差薄三 風向六〇度 風速八米

通九四五五 於一一八一七五九〇(十通) 海軍

458

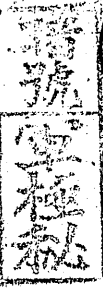
1964

作戰緊急

二二一七
受信一三三三
譯始一二四〇〇
譯了二三三五
電〇八〇七九
作概〇



第五艦隊
日本海軍部・聯合艦隊



機密第一七一〇四二番電

發 OKF 參謀長

第五艦隊機密第一六一八一五番電

ニ Y B ノ 待機位置ハ 諸情況考慮ノ 上 當分「カムラン」灣トセラルル内

意ニ付特ニ左ニ留意アリ度

一 戰況ニ應ジ急據作戰セシメラルルコトアルベキニ付整備ヲ訓練ヲ促

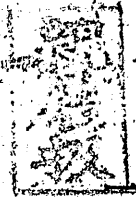
進シ戰況即應フ態勢ニアルコト

通九四〇一 呂ニB (八八八四K) (三) 通 松澤 (太) 田 (一)

959

二大陸方面ヨリスル敵機ノ來攻ハ支那方面打通作戰ノ結末偵察程度
 ト思考セラルルハ日、W方面モ同様ノモ常ニ警戒ヲ嚴ニシ遊撃ニ
 遺憾ナキヲ期スルコト。

(H)



緊

二一七

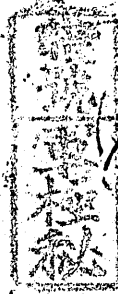
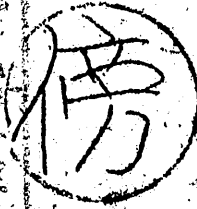
受信一八五二
譯始一九二〇

譯了一九三五

電〇八一五六

海英作
護〇

急



第一護衛艦隊・南西方面艦隊口・第五戰隊

聯合艦隊口・第二遊撃部隊△・第二水戰

第一根
妙高・羽黒

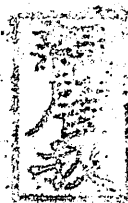
機密第一七一五二九番電

發 一KF參謀長

妙高 救難ノ爲羽黒至急出港ニ付同艦護衛艦トシテ千振及第一〇二號
哨戒艇ヲ充當ノコトトセラレタシ。

通九五八一 呂一B・ラー七八一七五九〇K(一〇通

960



人

保安緊急

一二一七

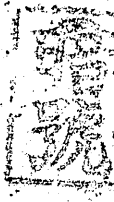
受信一七四〇六

譯了一七四五

電〇八一三五

海英 護作〇

第五戰隊



第一護衛艦隊口。南西方面艦隊口。第一南遣艦隊口。

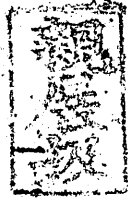
第二遊撃部隊△。第一根▽。妙高海軍省。聯合艦隊口。第二艦隊口。

機密第一七一六〇二番電

護衛艦ノ都合出來次第出撃、羽黒ヲ以テ妙高ノ曳航ニ當ラントス
護衛艦ハ一KFニ於テ手配中。

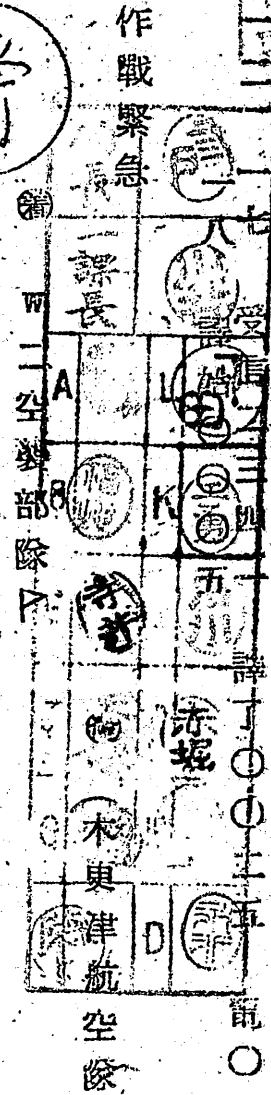
通九五四九 於一一〇一七五九〇KG)一〇通 永草(太田)

961



停 (Circular stamp with the character '停')

機密極秘 (Rectangular stamp)



機密第一七二一三七番電

發 三A F參謀

一 G F G B 發着電報要旨通報表示

敵ノ有力部隊ルソソ南部ニ上陸ヲ企圖スル算大ナル處一 G F G B 在
菲兵力僅少ニ付航空兵力緊急増勢セラレ度

通九七〇八 呂ニヨラ十七 (B) 木空 片山 (岩崎)

962

電信
十信
課

一八 受信一九二三 譯了二〇四五 電〇八七〇六 人 事

局長	東	課長	A	L	勇	マ	ツ
			B	K		カ	ツ
						ツ	ト
			C			ト	空
						ト	基
						ト	地

機密第一八〇八一六番電

宛 人事局長

發 第二十六航戰司令官

マバラカツト機密第一七二一〇六番電關聯

左ノ三名北日空轉入方特ニ御配慮ヲ得度

植村 金近 日野

「東通註」「北日空」「北菲空」ノ誤リト認ム

通一〇一七六 口二B(四二七〇)三一通 海軍

963

048T

通一〇〇三一

呂一Bラ十七

B

(

G F P

)

荒谷 (森)

田)

發 聯合艦隊參謀長
 矢矧ハ二十四日頃内海西部出撃ノ龍鳳隊ト同航M方面ニ進出セシメラ
 ルル豫定。

機密第一八一四〇番電

機密第一八一四〇番電

作

龍鳳

至急

一二一八

受信開始

矢矧

A

B

C

D

E

F

G

H

I

J

K

L

M

N

O

P

龍鳳

龍鳳

龍鳳

龍鳳

龍鳳

龍鳳

龍鳳

龍鳳

龍鳳

龍鳳

龍鳳

龍鳳

龍鳳

龍鳳

龍鳳

龍鳳

龍鳳

龍鳳

龍鳳

龍鳳

龍鳳

龍鳳

龍鳳

龍鳳

龍鳳

龍鳳

龍鳳

南西方面艦隊P・佐 鎮

電〇八五四三 作 概〇



トラツク空基地

聯合艦隊口・三航空艦隊口

機密第一八一二五六番電

第一 K F G B 指揮官

第四 F 參謀長



島航空基地擴張工事進捗状況現狀成ニ完成見込至急知ラサレ度 P T
ヲ機動基地トシテ銀河及重爆一キ六七ノヲ以テ作戦センガ爲ニ八一五

〇〇米滑走路ヲ是非共必要トスルヲ以テ飛行場ノ至急完成ヲ希望ス。

通一〇〇八六 四一〇一B 木更津空基地

香取空基地

丁一七〇〇 電〇八六四九

航作概本〇

965

一一一九

受信開始 〇〇六〇〇〇

譯了一九五〇 電〇九三九五

作園

第十課

作

東京通信隊
聯合艦隊司令部

未定

八通信隊

機密第一八一八三三番電 二分ノ一

南海方面艦隊參謀長

宛 大海參一部長 軍務局長

通報 聯合艦隊參謀長

一、R B 透撃作戦上 R R 二八四箇備發備隊ノ外ニ機動決戦部隊 (H K 派遣

隊・第二輸送隊・第二設営中隊・基地部隊ノ各部ヨリ抽出ノ人員合

計約一・八〇〇ヨリ成ル)ヲ必要ト認メ目下編成準備中ナルトコ

戰團指揮上及人給養等ノ取扱上一所轄統一ノ要アルニ付當該部隊ヲ

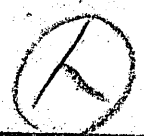
以テ承行十二月二十四日附陸戰隊

通一〇三七六

呂二Bケ三(五一二五五) 四通

海軍 (川崎)

966



一二一九 受領 〇〇五四〇一
丁一九三〇 電〇九一〇一 作區◎

緊急

東京 聯合艦隊

八

通

機密第一八一八三三番第一分ノ二

[Handwritten signature]

一 陸 (所轄) 横濱ヲ可ト認ムニ編成當隊ニ編入方取計ヲ得度
尙方面基地部隊無二給送隊ヲ解隊舊人員ノ大部ハ右特陸ニ轉勤發令
特陸ノ人員ニ關シテハ人事局ニ別置ス

二 「ラポール」 海軍運輸部ハ其ノ固有任務ヲ第八港務部ニ轉属繼承セ
シメ人員ノ一部ヲ港務部ニ大部ハ幹部ト共ニ八十四番ニ編入ノ決定
ニシテ有名無實トナレムニ付解消方取計ヲ得度

東通有各本
電信訓註本
本體二多ノ
分ノ一未
延

第一〇三七四 呂二日ケ三 八五一二五四一四通

海軍 (陸) 軍

第十課

969

12.20

NTF司 (訂正係人)

人

緊急親展

受信開始 〇〇三〇二〇〇 了 〇九〇〇 電 〇〇八九三一〇

補人 ©

電信課 第十課

機密第一

機密第一八一八五二番電

三分ノ一、三

NTF參謀長

人事局長

一、當隊機密第一八一四〇二番電關聯(宛軍司令部)

新編成特陸ノ配員左ニ依リ御取計ヲ得度

司令丹野(一〇二五)専務八通司令ヲ石川(二一四三)ノ兼務ト

ス副官篠田(五三〇六)軍醫長兼分隊長大木(ク八九四)主計長

兼分隊長武内(シ一五六九)へ今泉(ク一二六三)山田(ク

一五六〇)第八艦隊司令部附へ奥村(ク一五八四)小倉(ク一六

六五)高藤(ク一六三三)西(ク二〇二八)佐々木(ク二一二九)

嘱託醫李慶レウ(數字符)ハ全部齎ナリ。

(電信課註) 本電三分ノ一未着

通一〇三一八・二〇三三七 呂二B(四九四五K)八通

海軍

親展 緊急 九

受信始 〇〇三三〇六

譯了 一二三〇 電 〇九四八一

補人 〇

東京通信隊

第八通信隊

暗號軍部

機密第一八一八五二番電

三分ノ二

發 南東方面艦隊參謀長

宛 人事局長

山田 (三五四三ノ一五) 飯田 (夕一五三八) 小川 (夕一八〇八)

古田 (シ一八六七)

三左記ハ何レモ現在上記ノ配置ヨリ轉補發令方取計ハレ度

一〇五航空基地隊分隊長へ佐藤 (夕四九八) 一〇八航空廠部員へ

橋本 (夕一八三一)。

電信課 本電一三既配布

通一〇三三〇 呂二B (四九四五K) 八通

海軍

第十信課

至急
親展

暗號

局長	一課長	二課長	三課長	四課長	五課長	六課長	七課長	八課長
A	B	C	D	E	F	G	H	I

● 海上護衛總口 ● 佐 鎮

● 澤 捉 ● 朝 顔 ● 吳 竹 ● 國 後

機密第一八二〇一〇番電

發 一 回 參 謀 長

通報 佐世保工廠

汐風朝顔吳竹へGへ擇捉占守へ千島方面根據地隊へ近夕所屬變更
セラルル豫定

通一〇二五〇 於一一(四七〇五K) 高雄

海 軍

第十信

電〇八七八二 作 區 〇

符

970

1377

親展表

作戰緊急

局長	一課長	二課長	三課長	四課長	五課長
六課長	七課長	八課長	九課長	十課長	十一課長
十二課長	十三課長	十四課長	十五課長	十六課長	十七課長
十八課長	十九課長	二十課長	二十一課長	二十二課長	二十三課長
二十四課長	二十五課長	二十六課長	二十七課長	二十八課長	二十九課長
三十課長	三十一課長	三十二課長	三十三課長	三十四課長	三十五課長
三十六課長	三十七課長	三十八課長	三十九課長	四十課長	四十一課長
四十二課長	四十三課長	四十四課長	四十五課長	四十六課長	四十七課長
四十八課長	四十九課長	五十課長	五十一課長	五十二課長	五十三課長
五十四課長	五十五課長	五十六課長	五十七課長	五十八課長	五十九課長
六十課長	六十一課長	六十二課長	六十三課長	六十四課長	六十五課長
六十六課長	六十七課長	六十八課長	六十九課長	七十課長	七十一課長
七十二課長	七十三課長	七十四課長	七十五課長	七十六課長	七十七課長
七十八課長	七十九課長	八十課長	八十一課長	八十二課長	八十三課長
八十四課長	八十五課長	八十六課長	八十七課長	八十八課長	八十九課長
九十課長	九十一課長	九十二課長	九十三課長	九十四課長	九十五課長
九十六課長	九十七課長	九十八課長	九十九課長	一百課長	

一二一九
受信 〇〇九八四一〇五
譯始 〇九四一〇五
譯了 〇九四五
電 〇〇八九二九
作概 〇

第一輸送船隊
第三一戰隊
聯合艦隊中

機密第一九〇一五一番電 二分ノ二

發 南西方面部隊指揮官

菲島方面當面ノ作戰方針ハ左記ノ外十二月四日附「菲島當面ノ作戰指導要領」ニ依ル

一、航空部隊ヲ以テ極力「ミンドロ」島方面ニ對スル敵増援補給ノ遮斷

同支援機動部隊ノ増援並ニ「サンホセ」方面敵航空基地ノ制壓及使

用封止ニ努ム

通一〇四一五一〇四一六 呂ニB・ラー七(八八八四〇)三一 通

三ニY B 及三ーS ハ「サンホセ」附近在泊中或ニ増援中ノ敵艦船
船ヲ奇襲攻撃

三、ソノ島方面各要地ノ防用ヲ急速強化シ敵攻略部隊ノ來攻ニ備フ

四、「リンガエン」灣以北ニ於ケル補給基地ヲ急速整備

五、陸軍ニ於テ中菲方面ニ増援作戰ヲ行フ場合ニ於テ之ガ協力ニ遺憾

ナキヲ期ス。

(一)

親展

作戰緊急



潛號軍機

一九〇六 受信 一〇四六 譯子 二一四〇 電〇八九七九 作 概〇

第一聯合基地航空部隊戰闘概報着信鑑所

ニコルス航空基地

機密第一九〇七一四番電

夜戦隊戰闘速報

月光二機〇三〇〇・〇三五〇發「ミンドロ」島周邊敵艦船攻撃ニ向ヒ
ルモ之ヲ認メズ敵揚陸地點及飛行場附近燈火群ニ對シ爆撃效果不明

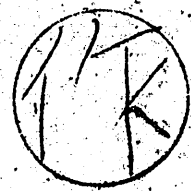
通一〇四九六 呂二A (八八八四KC) 三一、通

972

138T

一二一九 受信一〇二六 譯始一三二五 譯了一三四五 電〇九〇〇五 作機〇

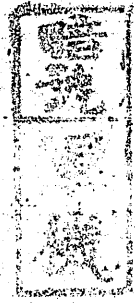
總無線艦所共通符號



六艦隊 P

第一聯合基地航空部隊△・第一機動基地航空部隊・第三航空艦隊 P
大海・吳鎮・第一特設基地隊 P

機密第一九〇八四七番電



聯合艦隊電令作第四四八號

先遣部隊指揮官ハ第二次支作戦ヲ開始セヨ。

通一〇五〇三 呂二A) B) C) D) 永島(雨) 谷)

973

緊急親展

一二一九 受信 一二二八 譯始 一二四五

譯了 一二五〇 電〇八九八二

海災 謹作〇

第十課

第五戰隊

五艦隊口・一南遣艦隊・四一特根

聯合艦隊口・南西方面艦隊口

發密第一九一一二一番電

暗號

一〇五〇北緯五度一四分東經一〇四度四七分ニ於テ妙高ト合同漂流
中羽黒ニテ曳航スルオ諸般ノ情況ヨリ見テ有利ト認ム
天候復次劣作樂開始。

通一〇五四九 於一一一七五九〇(一〇)通

海軍 中川(吉田)

977

人

一三二
二一九
〇九
譯受信
始〇二三五〇〇
〇〇
〇二五〇
電電電
〇〇九
九九三
三三三
一〇〇
九四三
參作
假本〇



◎ 大海・聯合艦隊口・一一根
◎ 聯合艦隊各戸

機密第一九一二二五番電

三分ノ六二三

發 GKF參謀長

通報 威 尙 武 眞

營面ノ情況判斷

「ミンドロ」島方面ニ上陸セル敵ノ企圖ニ關シテハ其ノ位置突入シ
アルニ拘ラズ其ノ使用兵力比較的少キ點竝ニ左ノ諸情況ニ鑑テ敵
引續キ「ルソン」作戰ヲ準備シアルコト既確實ニシテ其ノ時機ハ「
サンホセ」基地撤成後ノ十二月下旬乃至一月初頭ト判斷セラル

通通
一〇〇
八八
一六
七六
呂三三
八四
二七
〇八
二一
一〇
佐橋木
（面）

995

(イ) 十二月十五日偵察ニ依ル「ウルシ」島泊地輸送船集合状況（大中型輸送船八六小型輸送船一九搭載兵力一ヶ師團以上ト推定）

(ロ) 「ピアク」島方面輸送機集中状況

十二月七日八日同方面偵察ニ於テ中型機約二五〇機ヲ発見シアリ又通信機報上同方面輸送機ノ移動ハ十二月上旬特ニ増加シアリ一日平均五〇〇機以上又「ウエワク」方面ヲ西航スル「グライ」
「ター」アリ

(ハ) 「マニラ」用途ノ匪賊ハ十五日頃ヨリ一部直接行動（鐵橋爆破等）ヲ開始セリ

ニ敵ノ「ルソシ」島作戰要領ハ概ネ左ノ如キモノト判斷ス

(イ) 使用兵力

第一次地上四ヶ師團空輸一乃至二ヶ師團海兵二ヶ師團第二次地上三乃至四ヶ師團

(ロ) 上陸（降下）地點第一次主力「タヤバス」「パラヤン」灣方面一部「ラモン」灣方面及「ラグナ」灣周邊地區第二次「マニラ」灣

内一リンガエン

(一) 上陸ニハ「シンドロ」上陸作戦ノ例ニモ鑑ミ小型輸送船及LST等ヲ多數使用之ニ舟艇機動ヲ併用我方航空攻撃ニ依ル被害ノ局限ヲ企圖スベシ

(二) 敵機動部隊ハ戦闘機偏重編制トシ上陸制壓ヲ主トシ上陸作戦ニ協力スベク水上艦艇ハ相當積極的ニ前進使用スルノ算大ナリ。

親展

海軍省



一二一九 受信 一二五二 譯了 一二三四 電〇九二二六 〇九二二七

作 概 〇

總無線艦所用共通符號

聯合艦隊 第六艦隊各口

機密第一九一五三四番電 二分ノ一二

機密第一〇一三四八番電

發 三十根參謀長

貴機密第一〇一三四八番電關聯

コスソル水道泊地ノ狀況左ノ通

西口附近防潜網敷設狀況

(1)敷設位置(測點「ガライル」礁西端ヤグラ六、四トス)

(2)一五八、三度五〇七〇米ヨリ一三七、七度四一〇米迄

(3)一三三度 四〇七〇米ヨリ一二九、七度四〇三〇米迄

一〇七五三 〇七七五〇

皇海軍省(海軍省) 海軍省

976

一 一二五度 四〇四〇米ヨリ一八、九度四〇七〇米迄

一 一四、六度四一三〇米ヨリ一〇八、七度四三五〇米迄

(ロ) 網ノ兩端ニハ約五〇〇疋其ノ中間ニハ約一〇〇〇疋ノ黒色圓形浮標

ヲ認ム

(ハ) 敵艦艇ハ西口ヲ使用セス從ツテ防潜網附近通過スルヲ認メタルコ

トナシ

ニ 泊地状況

(イ) 艦船泊地アルコルン燈臺ノ三三四度七度間エシンドルト礁以南ニ

南行シアリ

(ロ) 飛行艇泊地コルモラシ礁北東側

三 出入港水路専ラ東口ヲ使用其ノ他ハ沿岸航行第四哨戒艇哨戒状況

(一) 東口 驅逐艦又ハ驅潜艇一南北ニ移動哨戒

(二) 北口 中央 驅潜艇一碇泊

(三) ガルコール 北方 驅潜艇二移動又ハ碇泊

(四) 飛行艇泊地 東方 驅潜艇二碇泊

(一)

作

讓急

着

報

暗号

通報

雲龍艦長

電令第五七七號

機密第一九三三七番電

43dg

高警 3/S

1/S

Zsd

共付

誤始 〇〇〇六 誤了 〇二〇〇

海軍 護

第十部

一、五三駆逐隊(檜)時雨ハ遭難者ノ收容ヲ終
 ラハム也才直ニ進出夫々及dgニ合同ス
 二、雲龍乗員、收容地ヲ高雄又ハ馬公トシ
 高警長官、定ル所ニ依ル

東ノ、844

卷十六

海軍

(終)

977



電信課
第十課

親展

一一二二〇

受信 〇〇九二〇〇

譯丁 一〇四〇

電 〇〇九三〇八二

省團
一合
軍務
人事

東京通信隊

聯合艦隊司令部・南西方面艦隊司令部

陸軍機

機密第一九二三四七番電

三分ノ六三

陸 第四南遣艦隊參謀長

宛 大海參謀部一部署

大海機密第一八一七四二番電送

一「アンボン」島第二十五特別機隊艦隊第七警備隊第二十警備隊

二十一警備隊ヲ集中キシメテタルヲ機務部隊ノ「セラム」

進ニ伴ヒ警備隊ヲ力「アンボン」島防衛ノ任ヲ擔當スルニトシテ

通一〇九六一 一〇九九九 昌三A(六二三五〇)二二通

海軍

978

所要兵力（陸軍側）ノ見解ニ依レバ一個師以上ヲ必要トス。及特殊地
 形上ハ陸上防備正面最小限三ヶ正面且各警備隊ハ司令以外ハ極メ
 テ若年又ハ特務士官級ナルヲ以テ各正面司令ヲ必要トス。ノ調へ
 基クモシテ當艦隊ガ「アンボン」島防衛任務ヲ擔任スル限
 リ現兵力組織ハ絕對必要ニシテ之ヲ爲スハ現編制及兵力配備存續
 必要トス。又當艦隊編成當時授ケラレタ軍作戦任務ニ變更ナケ
 レバ艦隊司令部下根據地隊司令部下兼務トスルハ所要ニ際新編セ
 ラルベキ司令部ノ機能發揮ニハ二箇月ヲ必要トセル從來ノ実績ニ
 基テ極力避ケルベキ所ナリ右ノ如ク進攻作戦ノ場合ハ何レモ然ラ
 ザル場合ニ於テ二五ABC現機構ノ存續ハ必要ナルヲ以テ若シ
 各部整理ノ要アリトセバ寧ろ二五ABCハ現狀ノ儘トシ四五F同
 司令部ヲ解除二五ABC 二六ABC 二八BCヲニRF又ハ一部
 三RFニ編入スルヲ可ト認ム

電信課
第十課

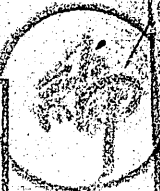
海
軍

ニ貴電ニ依ル改編員ニ曰ムヲ得ヌトセバ右改編ハ前項ノ特殊事情ニ
鑑ミ當艦隊ノ「アンボン」島防衛任務ニ支障ヲ來サザル様左ノ如
ク取計ハレ度内意ナリ。

一電偵課註 本電三分ノ三未着

第十信課

海 軍



緊急親展

受信 二〇二〇

譯了 二〇三〇

電 〇九八五一

官房・軍務
一令・令副
人事

東通

聯合艦隊口・南西方面艦隊口

機密第一九二三四七番電

三分ノ三

(1)?

第四南遣艦隊司令部職員ノ第二十五特別根據地隊司令部職員兼務
 ハ參謀長ニ限り他ハ總テ現狀通トシ第二十五特別根據地隊首席參
 謀ハ(口)項新編警備隊司令兼務トス兵力區分兵力配備現狀通(一
 アンボン)ヨリ離島方面「ニユーギネア」方面ニ對スル兵力移動
 ハ現戰況ニ於テハ實施不可能ナリ「アンボン」現第二十五特
 別根據地隊兵力(約一七〇〇名)ヲ以テ新警備隊編成(中樞地區
 及港灣ノ防衛並ニ海上部隊ヲ擔當)西部「ニユーギネア」南半

通 一〇五六呂三A(一八三六七五KG)二一通

海軍(一)

第十信課

979

（「ソロン」部隊擔任區域ヲ除ク）所在第二十五特別根據地隊ハ
第二十一警備隊ニ編入ス第七警備隊第二十警備隊現狀通

三「ソロン」部隊ハ現兵力ヲ以テ警備隊ニ（司令打林中佐）又第二十
警備隊第二十四通信隊ハ第二十五特別根據地隊ニ第二十六建設部
「アンボン」支部ハ第二十五建設部「アンボン」支部ニ編入改編方
取計ラハレ度

（電信課註、本電二分ノ一二隊配布）

一二二〇 受信〇九三五
開始一〇一五
了了 一〇三一 電〇九三九一
海軍作 〇



東海・聯合... 三... 二... 尾...
佐... 高... 高... 高...

發信第二〇〇八四一番

發 五二號司令

一 檢・樞... 電令作第五七七號ニ依リ二十一日一〇〇〇頃馬公着
各艦燃料約三〇〇噸補給ノ上二十二日朝同地發比島ニ歸ル
二 時雨艦取扱電シ弁故障佐世保ニ同航至急修理セシム
三 二十日一二〇〇以後高雄通信系ニ入ル
四 遭難者救助員檢檢三八・樞七四・時雨〇

通一一〇二五

於一一一 日 佐

海軍 服部(吉井)

122

980

12. 29

第十信課

	德	長
A		
E		
J		

第十課

緊急親展

一二二〇
 開始一一二五〇
 了二一三〇
 電〇九四〇〇
 海軍

無線電所用共通符號

檢・檢・時雨

聯合艦隊中・南西方面艦隊
 一號艦隊
 三號艦隊
 水雷艦隊

暗號

機密第二〇〇九五六番電

發 高雄警備府參謀長

遺難者收容地並ニ補給地ヲ高雄要港（左榮）ト定メラル

海軍
 第一〇三五
 第十六（一二一三〇號）高雄放

186



一九三二〇

電〇九八九二

共

符 作 概 〇



海上護衛總部隊P・八〇一空
大海參一部。聯合艦隊P。支那方面艦隊P。三航空艦隊P
機密第二〇一五二三番電

發 海上護衛參謀長

今般第八〇一海軍航空隊ヲ當部隊ニ編入セラレタル處右ハ特ニ敵潜水艦ノ掃蕩擊滅ニ任セシムルヲ其ノ目的トセラレアリ
爲之總司令部トシテハ第八〇一海軍航空隊ハ船團直接護衛ニ使用スル事無ク海防艦及潜水艦等ヲ附シ對潛戰力ノ極度向上ヲ圖リ當分ノ間既命海面ノ敵潛哨戒擊滅其他特令ノ對潛作戰ニ任ズル如ク指導セラルル方針ニ付了知アリ度。

通二三五九・二三六〇・二三六一 呂一B

982

而シテ右作戦ノ成否ハ八〇一空ト關係護衛擔任部隊トノ協同連繫ノ適否ニ依ル處大ナルモノアルベキヲ以テ作戦ニ當リテハ八〇一空ニ於テ關係部隊トノ密接ナル連繫ニ努ムル外關係部隊ヨリモ積極的ニ連絡支援ニ任シ又作戦以外ニアリテモ八〇一空ニ對スル各種ノ便宜供與援助等ニ關シ格別ノ配慮ヲ得度。

一二二 受信一三〇八 譯了 一三五〇 電〇九九四六 航作概〇
本

作戦緊急

臺中空基地



上海空・松山空基地・二鹿屋空・一聯合基地航空部隊△・ニコルス、マバラ
カツト各空基地
聯合艦隊口。一二二、二二六、二一〇一各航戦ト・支那方面艦隊口。高響。
三南遣艦隊口

密第二〇一九三二番電

發 青野大尉

一四一〇神武特別攻撃隊(零戦二七、零星七)及一四一空零星一・一五
三〇輸送機五機着二十一日一三三〇「マバラカツト」西基地ニ向ケ發
ノ豫定。

通一一六六一 且一B(一二一五〇)C(イノ)敏出

983